

アイスダンス (ノービス パターンダンス)

減点に対する責任者

減点 (更新)

	内容	罰則	責任者
1	衣装 / 小道具違反 - 規程第 501 条第 1 項及び ISU コミュニケーション第 1860 号による	プログラム毎に -1.0	レフェリー + ジャッジ*
2	衣装の一部 / 装飾品の氷上落下 - 規程第 501 条第 2 項による	プログラム毎に -1.0	レフェリー
3	転倒 - 一人の転倒毎に - 二人とも転倒毎に • 転倒は、スケーターがコントロールを失い、自身の体重の過半がブレード以外の体のいずれかの部分、すなわち(両)手、(両)膝、臀部、または腕のいずれかの部分、によって氷に支持される結果を生じることと定義される(規程第 503 条第 1 項 para 1).	-0.5 -1.0	テクニカルパネル**
4	開始の遅れ - 規程第 350 条第 2 項による - 1 から 30 秒遅れて開始された場合	-1.0	レフェリー
5	プログラム演技中の 10 秒を超える中断 - 10 秒を超え 20 秒まで - 20 秒を超え 30 秒まで - 30 秒を超え 40 秒まで 中断はスケーターがプログラムの演技を止めた時から、プログラムの演技を再開するまでに経過した時間と定義されている(規程第 503 条第 2 項)	-0.5 -1.0 -1.5	レフェリー*** 中断が 40 秒を超えて続く場合、音による合図がレフェリーによってなされ、カップルは棄権となる。
6	中断した個所から再開を許されたプログラムの中断 - 規程第 515 条第 3 項 b)	- 2.5	レフェリー*** 中断が始まってから 40 秒以内にパートナーの一方がレフェリーに申告しない場合、または追加で許される 3 分間以内カップルがプログラムを再開しない場合には、そのカップルは棄権となる。
7	テンポ規程 - 規程第 707 条第 5 項及び ISU コミュニケーション第 1860 号による (テンポ): 要求されたシーケンスを通じてテンポは一定でなければならず、そのパターンダンスに要求されたテンポ (ISU ハンドブック アイスダンス 2003 を参照)に±2 拍/分で沿っていなければならない。	プログラム毎に -1.0	レフェリー
* レフェリー + ジャッジ: 減点はすべてのジャッジとレフェリーを含むパネルの多数意見に従って適用され、投票が 50:50 に割れた時には減点しない。上述した減点を適用するにはジャッジとレフェリーは自身のスクリーン上のボタンを押すことで行う。			
** テクニカルパネル: テクニカルスペシャリストが特定する。テクニカルコントローラーが承認あるいは訂正して減点する。しかし、テクニカルスペシャリストが二人ともテクニカルコントローラーが提示した訂正に反対した場合には最初のテクニカルスペシャリスト及びアシスタントテクニカルスペシャリストの決定が維持される。			
***As これらの減点の値は規程第 353 条第 1 項 n)に与えられた標準的なものではないので、レフェリーはシステム操作者に特別な指示を与えなければならず、その都度正しい入力を確認しなければならない。			

